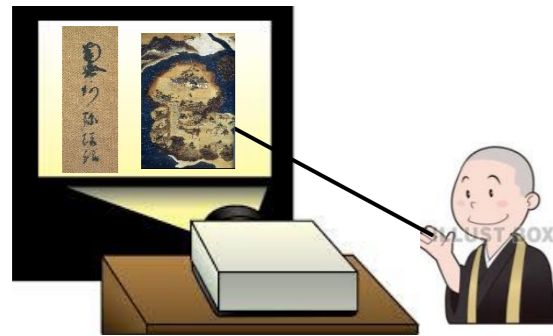


あんのん
世のなか安穩なれ
仏法広まれ



「善通寺盆法要」のお参りをご縁に 親鸞聖人が示された「浄土真宗」という
真実なる教えを映像と共に味わってみませんか。

「盆法要」2日目のテーマは、

【(1) 蓮如上人 (2) 吉崎御坊 (3) 本願寺の東西分裂】です。

パワーポイントを利用しながら、ご法義を学んでいきます。写真や映像、音声を交えて進めますので、興味深く、
楽しみながら味わって頂けると思います。 [善通寺盆法要 令和三年八月十三日～十五日]



かがみのごえい
親鸞聖人 (鏡御影)

八月十四日(土)

9:00

◆本願寺中興の祖といわれる蓮如上人(第八代宗主)は、本願寺の何を再興したのでしょうか。

本願寺は、親鸞聖人=如信宗主(二代)=覚如宗主(三代)と引き継がれますが、その後、蓮如上人が登場するまでの約 100 年間は不振窮乏にありました。しかし、上人は、「御文章」や「名号」の下附、「正信偈和讃」の開板などによって本願寺を一躍大教団に発展させます。では、上人は、一体、本願寺の何を再興させたのでしょうか。



蓮如上人

蓮如上人御真筆
六字名号



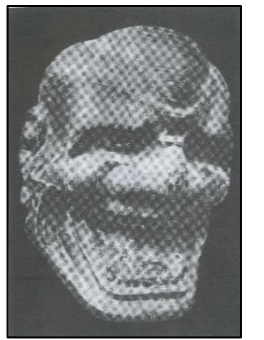
11:00

◆蓮如上人によって宗教都市となった吉崎御坊とは？

蓮如上人は、寛正の法難など比叡山の衆徒による再三の攻撃によって本願寺の地を転在しますが、1471 年(文明 3 年)、越前吉崎に坊舎、吉崎御坊を建てられます。本坊を中心に数百の多屋(門徒休憩所)や商家が立ち並んだという宗教都市となった吉崎御坊、そこには、どのようなエピソードが伝承されているのでしょうか。



吉崎御坊 古絵図



よめ にくつき めん
嫁おとし肉附の面

13:00

◆本願寺における東本願寺と西本願寺の分裂は何を意味するのか？

蓮如上人以降、顕如宗主(第十一代)に至って本願寺の社会的勢力は戦国大名に匹敵するものになります。そして、天下統一をめざす権力者、織田信長と本願寺との間に、世にいう「石山合戦」が勃発します。しかし、「石山合戦」に敗れた本願寺は、その後、東西に分裂することになります。その出来事は、私達に何を示唆しているのでしょうか。

石山合戦配陣図
(龍谷大学図書館蔵)



「当時籠城門徒
四万余人」とある

善通寺 (浄土真宗本願寺派)

広島市南区南蟹屋 1-6-11

tel 082-281-2779



(講師) 佐々木敏夫師 (釈誠叡)